

## 8. 「まちななか市民ギャラリー」による地域コミュニティ機能強化事業

☞ エコの取組や情報発信などコミュニティ施設の機能強化の検討

【北見市商店街振興組合連合会】

### 地域の状況

#### ■ 地域の概要

本事業を実施した地域は、北見駅前に形成された商業集積地区で、北見市商店街振興組合連合会を組織する4つの商店街振興組合が含まれており、また、市役所や病院、交通機関などの主要な都市機能が集積し、お祭りやイベントの会場としても使用されるなど、北見市全体に対する地域コミュニティの中核的役割を担っています。

#### ■ これまでの問題点

市内唯一の百貨店であった「きたみ東急百貨店」をはじめとする大型店舗の相次ぐ撤退、「ふるさと銀河線」の廃止などによって商店街の中心性は低下し、郊外店舗の拡充で中心市街地の活力が衰退して空き店舗が散見されるようになっていました。

一方、東日本大震災を契機に商店街が有するコミュニティ機能の重要性が再認識されており、地域コミュニティの要となる商店街が真に不可欠な存在として存続していくために、既存ストックを有効活用したコミュニティ機能の強化が課題となっていました。



#### ■ これまでの取組

北見市商店街振興組合連合会では、空き店舗を活用した「まちななか市民ギャラリー」という地域コミュニティ機能を有した施設を

設置、運営してきました。

また、北見市やまちづくり会社とコンソーシアムを設立し、アーケード等の照明のLED化で二酸化炭素とエネルギーコストの削減を図る取組を行ってきています。

### 事業内容

#### ■ 本事業での取組

既存のギャラリーをベースに地域に不足している機能を新たな取組として付加することで商店街における地域コミュニティ機能の向上を図ることとしました。

24年度の取組としては、ギャラリーに必要な機能や商店街がどのような役割、機能を担うべきかを検討するため、地域住民や来街者、関係団体などを対象とした実証実験や調査研究を実施して、事業化に向けた実践的な方策を実施計画として策定しました。

実証実験では、ギャラリーの利便性向上に向けた可能性を検討するため、土曜、日曜、祝日に地元大学生をギャラリーの案内員として配置し、商店街の案内など情報発信力の強化と効果検証を行いました。その結果、職員常駐のニーズはあるものの、利用者の費用負担には消極的であったことから、費用対効果や他のニーズへの対応のため、短期的には人的配置を行わず、情報発信の強化や貸スペースとしての利用増を目指す取組を行い、連合会事務局の移転も含めて人的配置を継続して検討していくこととしました。

また「エコで元気なまちづくり」を推進するため、中心市街地におけるLED化の取組を紹介する「まちななかエコPRコーナー」の開設や「まちななかエコ教室」の開催を実証実験として行い、節電やエコに対する一般市民の関心の高さや環境にやさしいエコ商店街・中心市街地の取組を市民に情報発信していくことの重要性を認識しました。

調査研究では、商店街に求められるコミュニティ機能を把握するため、来街者などへの

アンケート調査やギャラリーの案内員として参加した大学生によるグループインタビューを実施し、まちゼミや談話スペース、出張者向けサービスの提供などのニーズが把握できました。

■ 取組の中で生じた課題

「エコPRコーナー」の設置では、北見市商店街振興組合連合会が、北見市とまちづくり会社で構成するコンソーシアム「きたみエコ元気まちづくり共同体」や北見市街路灯組合連合会による取組事例の紹介、LED電球と白熱電球の比較展示を企画しましたが、エコに関する情報を広く市民に発信するには、展示内容の強化やエコ教室での学習プログラム、講師等の運営面で、専門機関の協力が必要となりました。

■ 取組に関する課題への対応

展示内容等の充実を図り、省エネ・節電の情報を広く市民にPRするため、北見工業大学や北海道電力に協力を仰ぎ、PRコーナーへの出展、啓発資材等の配布、エコ教室での講師などで協力をいただきました。こうした取組が今後の商学連携や産業間協働の一端となることを期待しています。

■ 地域の関係者との連携体制（メンバー）

事業実施に関して北見市の全面的な協力が得られたほか、エコの取組では、北見工業大学や北海道電力、北見市街路灯組合連合会と協力しながら事業を実施しました。また、ギャラリーの案内員は、北見産学医協働センターに委託し地元の大学生を配置しました。

■ 連携体制を構築する上で生じた課題

北見市商店街振興組合連合会では、北見市やまちづくり会社など日頃から関係のある団体に対して協力を求めることはできましたが、あまり関わりの無い団体への協力要請が課題でした。

■ 連携体制に関する課題への対応

北見市が各団体との間に入っていたことで、事業趣旨や協力してほしい事項などの説明をスムーズ行うことができ、円滑な協力体制が構築できました。

今後の取組

本事業により策定した事業計画では、ギャラリーのLED照明化や内装等の改修工事、実証実験を行った各種取組や収益事業の実施によって、ギャラリーが経営面で自立することを目指しており、今後とも地域コミュニティ機能の向上に資するソフト事業を継続して実施するとともに、事業の実効性の確保について検討を行っていきたいと考えております。



まちななかエコPRコーナー

北見市商店街振興組合連合会

- 【会 員】 北見一番街商店街振興組合、北見二番街商店街振興組合  
北見大通商店街振興組合、北見銀座商店街振興組合
- 【所在地】 〒090-0041 北見市北1条西2丁目16番地
- 【代表者名】 理事長 真柳 正裕
- 【電話番号】 TEL 0157-22-2703 FAX 0157-22-2703
- 【H P】 <http://www.k-mint.ne.jp/>